

第3課

イエス・キリストとの出会い

「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか」(マタイ 16:15)

第3課の絵の概念

1. B.C. の巻物と A.D. の巻物の間に立つイエス

………… イエス・キリストによって、世界の歴史は二分されました。

2. 4つの巻物 …………… イエス・キリストが歴史上のどんな人物とも異なっていることを示す4つの証拠があります。

3. 第1の巻物 …………… 旧約聖書の預言

(1) 星を指し示す預言者たち …… 旧約の預言者たちは、キリスト来臨の預言を語ったが、そのすべてが成就しました。

4. 第2の巻物 …………… キリスト自身の証言

(1) 十字架と小槌 …………… キリストは、自らを神としたため十字架にかけられました。

5. 第3の巻物 …………… 弟子たちの証言

(1) 傷もしみもない小羊 …… キリストは、その生涯において、一度も罪を犯したことがありませんでした。

(2) 人と地球をのせたばかり …… キリストは、人のいのちは全世界よりも重いとされました。

(3) 布にくるまれたラザロ …… キリストは、その生涯において、多くの奇跡を行われました。

(4) 十字架 …………… キリストは、十字架の死に至るまで愛を実行されました。

(5) 空になった墓 …………… キリストは、よみがえられました。

6. 第4の巻物 …………… 歴史的事実による証言

(1) 喜ぶ弟子たち …… 今まで臆病だった弟子たちが、一瞬のうちに変えられました。

(2) 教会堂 …………… 教会が誕生しました。

7. 不毛の地にある3つの墓 …… 世界四大宗教の創始者のうち、キリスト以外の3人は、墓の中に葬られたままで、よみがえりませんでした。

8. 人々を招くキリスト …………… キリストは、今も生きていて、人々を救うことができます。

9. キリストを通して、天国に近づく人々

………… 今も多くの人々が、キリストを通して永遠のいのちを自分のものとしています。

第3課 イエス・キリストとの出会い

イントロダクション

イエス・キリストほど、世界の歴史に影響を与えた人物はいません。

しかし、イエス・キリストほど、正しく理解されていない人物もいません。

イエスとは、ヘブル語のヨシュア（主は救い）をギリシア語に音訳したもの。キリストとは、ヘブル語でメシア（油注がれた者、救い主）と言われた言葉のギリシア語訳。

1. イエス・キリストによって、世界の歴史は二分されました。

キリストこそ、世界の歴史を二分するにふさわしい方であると、歴史家たちは考えました。キリスト生誕以前を B.C. (Before Christ)、以降を A.D. (Anno Domini、「主の年」の略) と言います。

2. イエス・キリストが歴史上のどんな人物とも異なっていることを示す4つの証拠があります。

信仰は、知ることから始まります。事実を確かめずして信じることは狂信であり、事実があるのに信じないことは不信仰です。事実を事実として受け取ること、それが信仰です。もちろん、すべての事実を確認できるわけではありませんし、見ずして信じるのが信仰の本質でもありますから、ここで言う「知ること」とは、信じるに足る十分な証拠を理解することをさしています。信仰と理性とは、対立するものではなく、共存するものです。

イエス・キリストが、信頼に足る人物であることを示す4つの証拠について考えてみましょう。

- ・旧約聖書の預言
- ・キリスト自身の証言
- ・弟子たちの証言
- ・歴史的事実による証言

3. 旧約聖書の預言

(1) 旧約の預言者たちは、キリスト来臨の預言を語ったが、そのすべてが成就しました。

- ・最初のメシア預言

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく」

(創世記 3:15)

・ユダ部族から生まれるという預言

「王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う」
(創世記 49:10)

・ダビデの家系から生まれるという預言

「あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちとともに眠るとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をとこしえまでも堅く立てる」
(Ⅱサムエル 7:12,13)

・人類の身代わりとして死んでいくという預言

「しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために碎かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた」
(イザヤ 53:5,6)

・ベツレヘムで生まれるという預言

「ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである」
(ミカ 5:2)

4. キリスト自身の証言

(1) キリストは、自らを神としたため、十字架にかけられました。

この方は、「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」(ヨハネ 14:6)と語り、「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです」(ヨハネ 11:25)と宣言されました。また、人の罪を赦したり(マルコ 2:5)、アブラハムが生まれる前から、自分は存在していると主張したりされました(ヨハネ 8:58)。

キリスト以外に、いったい誰がこのような大胆な宣言をすることができたでしょうか。キリストは、これらの神性宣言のために、裁かれ、十字架にかけられたのです(マタイ 26:62～66)。

5. 弟子たちの証言

(1) キリストは、その生涯において、一度も罪を犯したことがありませんでした。

キリストと3年間寝食を共にしたペテロは、こう証言していますが、これは普通の人間から見れば、驚くべき発言です。

「キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました」 (1ペテロ 2:22,23)

(2) キリストは、人のいのちは全世界よりも重いとされました。

人々は、キリストの教えのすばらしさに、特に、人間への深い愛といつくしみの心に感動しました。この方は、人のいのちを全世界よりも重いとされ (マタイ 16:26a)、どんな罪人を扱う場合でも、決してその人を辱めるようなことはなさいませんでした。

(3) キリストは、その生涯において、多くの奇跡を行われました。

キリストが神の子であることの証拠の一つは、奇跡です。

この方は、悪霊を追い出し、病をいやし、死者をよみがえらせ、自然界を支配なさいました。証明もなしに無神論の前提に立ち、すべての奇跡を否定する人にとっては、キリストの奇跡は不可解なものに思えるかもしれませんが、すべての資料を中立な立場で調べる人にとっては、奇跡こそキリストを信じる有力な証拠となります。

(4) キリストは、十字架の死に至るまで愛を実行されました。

キリストは、人間の思いをはるかに超えた愛を具体的に示してくださいましたが、これこそ神の愛にほかなりません。十字架上で祈られたあの祈りは、人間にはどうい祈ることのできないものです。

「そのとき、イエスはこう言われた。『父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです』。彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた」 (ルカ 23:34)

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです」 (1ヨハネ 4:9,10)

(5) キリストは、よみがえられました。

あの臆病な弟子たちが、瞬間的に大胆な伝道者の群れへと変えられていったのは、キリストが復活したからです。イスラエル民族の独立が出エジプトという歴史的事実の上に乗っているように、キリスト教会の誕生もキリストの復活という歴史的事実の上に乗っています。復活の事実を認めないで、他の方法で教会の誕生を説明しようとすることは不可能です (1コリント 15章参照)。

6. 歴史的事実による証言

(1) 今まで臆病だった弟子たちが、一瞬のうちに変えられました。

「ペテロとヨハネは彼らに答えて言った。『神に聞き従うより、あなたがたに聞き従うほうが、神の前に正しいかどうか、判断してください。私たちは、自分の見たこと、また聞いたことを、話さないわけにはいきません』」（使徒 4:19,20）

(2) 教会が誕生しました。

教会が誕生したのは、ペンテコステの日でした（使徒 2 章）。復活したイエスが昇天し、信徒たちの上に聖霊（父の約束）を注いだ結果、教会が誕生しました。

7. 世界四大宗教の創始者のうち、キリスト以外の3人は、墓の中に葬られたままで、よみがえりませんでした。

ユダヤ教 …………… アブラハム（墓はヘブロンにある）

イスラム教 …………… マホメット（墓はサウジアラビアのメディナにある）

仏教 …………… 釈迦（骨と灰は8万もの寺院に配られた）

8. キリストは、今も生きていて、人々を救うことができます。

「イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです」

（ヘブル 13:8）

9. 今も多くの人々が、キリストを通して永遠のいのちを自分のものとしています。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」（黙示 3:20）